

米PCE価格指数、約40年ぶりの高水準

ポイント① 依然、インフレ終息の兆しは見えず

2月25日に発表された1月の米PCE（個人消費支出）価格指数は、前年同月比で6.1%上昇し、約40年ぶりの高水準となりました。また、FRB（米連邦準備制度理事会）が物価の目安と考える、変動の大きいエネルギーと食品を除くコア指数についても、前年同月比で5.2%上昇し、昨年12月の4.9%から伸びが加速しました。物価上昇の背景には、人手不足による賃金上昇の影響があるようで、消費者物価指数とともに同指数からも、インフレが終息する兆しが見られない状況が続いています。

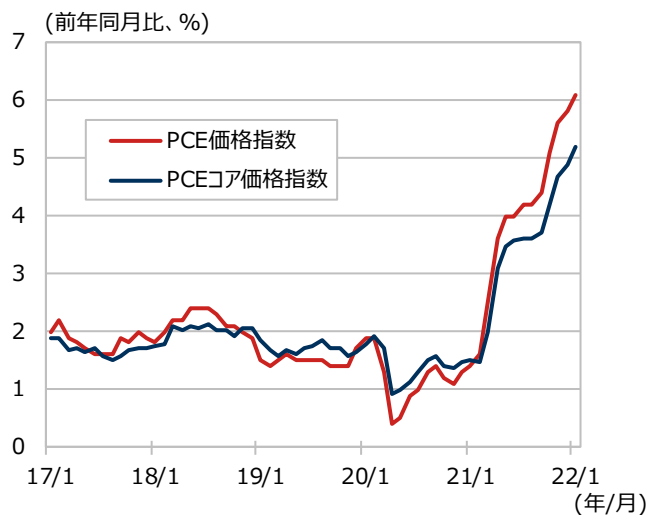
ポイント② 個人消費支出は前月比で上昇

このような状況下、同じく25日に発表された1月の米個人消費支出は、前月比で2.1%の上昇となりました。全米が寒波に見舞われたことで暖房費が増加したことに加え、1月は自動車や娯楽品の購入も目立っており、多額の貯蓄と力強い賃金の伸びが個人消費の支えとなっているようです。一方、個人所得と貯蓄率については、前月比でそれぞれ横ばい並びに低下したものの、ともに政府による給付金の減額、子どもがいる世帯への税額控除の適用が失効したことが要因となっている模様です。

ポイント③ FRBの3月利上げ見通しに変更なし

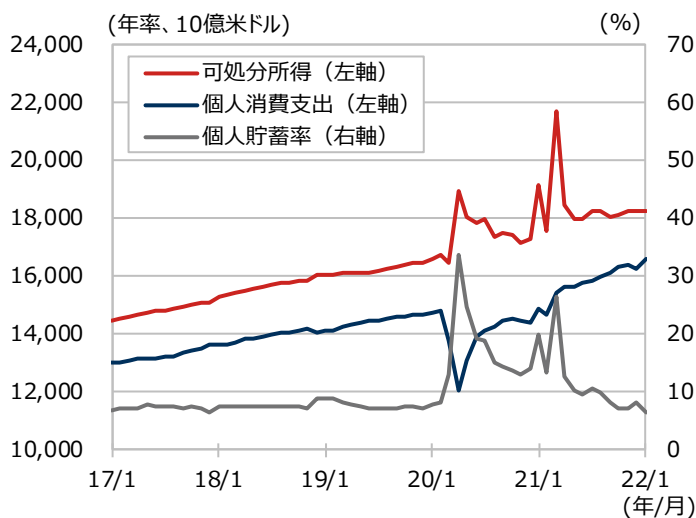
本統計にて、記録的な物価上昇が進む中でも個人消費の拡大が示されたことは、3月のFRBの利上げ観測を後押しする材料となりました。ただ一方で、足元で緊迫化するウクライナ問題がさらなるインフレ圧力を招き、今後の消費を停滞させるリスクもあるので、利上げ幅やバランスシート縮小の開始時期を巡っては、より慎重な見方をする必要がありそうです。

米PCE価格指数の推移



期間：2017年1月～2022年1月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米個人可処分所得・消費支出・貯蓄率の推移



期間：2017年1月～2022年1月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

**重要
イベント**

- 3月1日 米ISM（サプライマネジメント協会）製造業景況感指数（2月）
- 3月4日 米雇用統計（2月）